

尼崎郷土史研究会 平成24年度 第4回歴史講座

六甲花崗岩（御影石）とその利用

—尼崎城の城石のふるさとを訪ねて—

講師 神戸深江生活文化史料館 研究員 藤川祐作 氏

1 と き 平成25年2月21日（木）13：30～15：00

2 ところ 小田公民館2F学習室2・3

3 テーマ 六甲花崗岩（御影石）とその利用

講座要旨

尼崎を含む阪神地域の後背に六甲山系がある。我々は古代よりその六甲山系から様々な恵みを得て、また利用してきた。本日のテーマの花崗岩（御影石）もその一つである。六甲山系から花崗岩を切り出し加工して、古代には古墳に、中世から近世にかけては寺院や城郭等に使用した。尼崎城はもとより大坂城の城石として使われている。

また、これら津の国の花崗岩は、京都の三条・五条の大橋の石材にあるいは高野山奥の院五輪塔にも見ることができる。花崗岩を採石・加工した石工集団について、また近代の利用等についても紹介します。

4 講師 神戸深江生活文化史料館研究員 藤川 祐作 氏

5 申込み 平成25年2月6日（水）から尼崎市立文化財収蔵庫へ
電話 06（6489）9801

6 定員 60人（定員になり次第募集を締切らせて頂きます。）

7 参加費 300円（資料代）尼崎郷土史研究会会員は無料